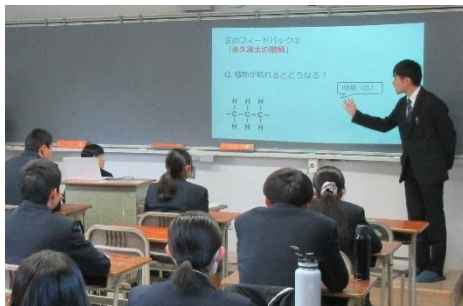


● 1 学年「東北大学教職実践演習」実施 大学生・大学院生による模擬授業&座談会

12月6日(水)、「志教育」の一環として、東北大学の学生および大学院生計39名による「東北大学教職実践演習」が本校で行われました。この取組は、教員免許取得を希望する東北大生(大学院生含む)が、本校1年生を対象に、自分の研究テーマに関する模擬授業を行うというものです。大学生にとっては、高校という教育現場における授業実践の機会となる一方で、本校の生徒にとっては、大学での学びや研究内容の一端を垣間見る貴重な機会となりました。また、後半に設定された座談会では、現役東北大生・東北大学院生より、高校時代の学習の様子、大学生活、サークル活動、将来の夢や目標等について、時に笑いを交えながら、たくさんのお話をいただきました。受験対策について理解を深めるだけでなく、大学で学ぶことの意義や現在の高校における勉強の意味についても様々な角度からご助言をいただき、生徒の進路意識を大いに高めることができました。参加した生徒による事後アンケートでは、「色々なお話を聞くことができとても貴重な時間になったし、身になることばかりで今日のことを忘れないようにしようと思いました」「自分は理系志望ではあるが、文系の分野にも『おもしろそう』『学んでみたい』と思えるポイントがいくつもあり、今後の進路を考える手助けになりました」「学生の方たちの高校生活が、自分たちが今過ごしている日常と変わりがなく、学生の方々も高校の勉強は苦労したということが聞いて、親近感を感じました」などの声が寄せられました。



● 1 学年「小論文講演会」を実施しました。

小論文の‘いろは’を学ぶ 講師：本間裕子氏（学研）

1月28日（火）3・4校時、本校体育館において、1学年を対象とした「小論文講演会」を実施しました。この日は学研より講師として本間裕子先生をお迎えし、「小論文とは何か」「小論文を書くために必要なことは何か」をテーマに、小論文作成の初歩についてお話をいただきました。また、具体的な事例をもとに、論理構成の仕方や問題の捉え方について考え、小論文作成や物事の捉え方に対する理解を深めました。

参加した生徒からは、「小論文は、高校入試の作文とは違って論理的思考が求められることがわかった。日ごろから論理的に物事を考えて、小論文の論展開に慣れていきたい」「社会問題についてより詳しく調べようと思った」「小論文は多方面からの視点が大切だとわかった」「社会状況が分からないと書けないのでニュースや新聞を読むようにしたい」「小論文は大学受験のみならず社会に出て必要能力であると説明され、理由のまた理由に遡ることで背景がくっきりと見えてくるというお話は面白いと思った」等の声が寄せられました。

小論文には探究活動にも生きる視点が沢山あります。今後の学びにもぜひ生かしてほしいと思います。



学研
本間裕子先生



《当面の予定》

12月

6日（水）東北大学教職実践演習（1年）
進路講演会／説明会（2年）
済

14日（木）推薦選考会議④（3年）

15日（金）三者面談（3年）、重点公開日

18日（月）三者面談（3年）

19日（火）三者面談（3年）

20日（水）三者面談（3年）

21日（木）三者面談（3年）

22日（金）午前授業、全校集会、大掃除

25日（月）冬期課外講習（123年）

26日（火）冬期課外講習（123年）

27日（水）冬期課外講習（123年）

28日（木）冬期課外講習（123年）

29日（金）～31日（土）閉庁

三者面談期間中
は3年午前授
業、1・2年は6
h授業です。

1月

1日（日）～3日（水）閉庁

4日（木）校内共通テストプレ（1日目）

5日（金）校内共通テストプレ（2日目）

8日（月）成人の日

9日（火）全校集会、大掃除、実力考査（1・2年）

13日（土）大学入学共通テスト（1日目）

14日（日）大学入学共通テスト（2日目）

15日（月）共通テスト自己採点（3年）

19日（金）進研記述模試（2年 放課後）

20日（土）進研記述模試（1・2年）

出願面談（3年）、共テ追試

21日（日）出願面談（3年）、共テ追試

22日（月）国公立大学出願開始

（→2月2日（金）国公立大学出願締切）

● 12月15日（金）～21日（木）、1・2年生を対象とした「大学説明会」を実施します（※土日を除く）。各大学から先生や学生の方をお招きし、それぞれの大学についてお話をしていただく説明会です。大学の方々と直接お話のできる貴重な機会ですので、ぜひ有効に活用してください。

【時間帯】15：40～16：40 【来校大学】：宮城教育大、宮城大、岩手大、山形大、福島大